



第65回 岡大サイエンスカフェ



OKAYAMA
UNIVERSITY

現代社会における地域語のあり方 —地域方言の衰退と変容—

講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科
准教授 中東 靖恵

日本には各地で話されている方言のバリエーションがとても豊富にあります。しかし、全国共通語化が進んだ現代社会において、地域方言は衰退し変容しています。そのような中、消滅の危機にある方言を保存・記録し、若い世代に継承するための活動が急速に広がっています。その一方で、近年、若者を中心に「方言ブーム」が起こり、地域方言に新たな価値が見出され、今、その動向が注目されています。地域の活性化に方言を活用する自治体もあり、現代社会における地域語のあり方は多様化してきています。

◆ 岡山県内に見られる地域方言の保存・記録・継承活動 ◆



井原市
【井原地方の話しことば】



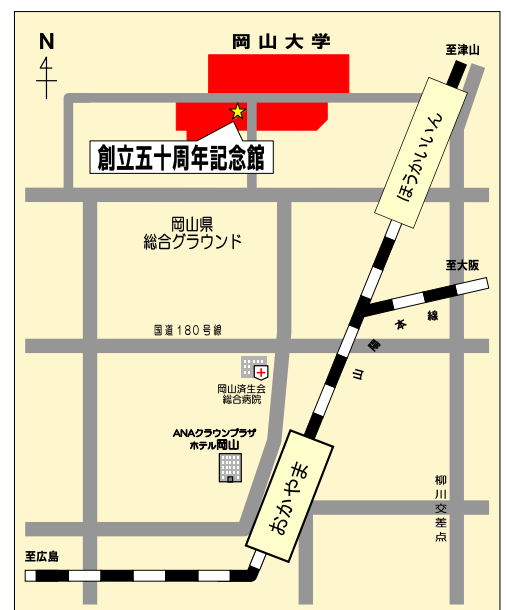
岡山市南区興除地区
【こうじょがいっぱいカルタ】



真庭市
【真庭版ラジオ体操】

参加者募集

- ◆開催日時
平成30年2月1日(木) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館 2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: sciencecafe@okayama-u.ac.jp
http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/event/sciencecafe_02.html
- ◆締め切り 平成30年1月29日(月) 午後5時
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 森川・村上・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております。

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも。